令和　3 年度
事業報告書

社会福祉法人ながのコロニー

社会福祉法人ながのコロニー
令和３年度　事業報告書

○　利用者数の状況

・　入所利用者数は、前年度と比較して３人減少した。３人はいずれも入院による退所であった。また、ワークサポートの入所支援からハートフルの入所支援へ移行された方が２人あった。

・　通所利用者数は、前年度と比較して２人減少した。はあてぃが４人増加したが、ワークサポートが５人減少し、ハートフルが１人減少した。新規に利用を開始した方が５人、養護学校卒業者の新規利用者が１人あったが、入院退所の３人が減少したほか５人が契約終了となった。

・　就労継続支援Ａ型の利用者は、印刷１人、縫製２人を採用し、管理１人、営業１人、印刷３人が退職した。

○　職員の状況

・　福祉施設部門では、退職者６人に対し５人採用した。不足分は兼務と事業所間の人事異動により対応した。

・　福祉工場では、退職者２人に対して採用はなかった。

○　経営概況

・　令和３年度は、３年ごとに実施される報酬改定があり、入所支援、短期入所、就労継続支援Ｂ型は請求単価が増額となったが、生活介護は減額となった。

・　入所事業の一元化に向けた検討を進める中でワークサポート篠ノ井及びハートフル五明の利用者は減少した。

・　ワークサポート篠ノ井は、障害福祉サービス収益が減収となり、加えて、主に原油高騰による電気料金や灯油代金などの費用の増加により、サービス活動増減差額は 463 万円の黒字を維持したが、黒字幅は前期比 897 万円減少した。

・　ハートフル五明においても、利用者の減少があったため減収となった。サービス活動増減差額は 953 万円の赤字となったが、職員の減員により人件費が減少したため、赤字幅は前期比 207 万円減少した。

・　はあてぃ若槻は、利用者が増加したため、障害福祉サービス収益が増加した。サービス活動増減差額は 88 万円の黒字を維持したが、職員の増員に伴う人件費の増加により、黒字幅は前期比 467 万円の減少となった。

・　長野福祉工場の印刷事業のサービス活動収益は前期比 6%増加した。材料費は増加したものの、外注加工費及び労務費、経費が減少し、サービス活動費用は前期比 1.2%減少した。サービス活動増減差額は 228 万円、当期活動増減差額は 327 万円と黒字に転じた。縫製事業のサービス活動収益は 3.6%増加した。サービス活動費用は労務費、外注加工費

は減少したが、材料費が増加し、3.3％増加した。サービス活動増減差額は 171 万円、当期活動増減差額は 176 万円と黒字を確保した。福祉事業は、延べ利用者数は減少したが、報酬改定があり請求単価が増額となったため障害福祉サービス収益が増額した。サービス活動増減差額は 311 万円の黒字を維持したが職員の増員に伴う人件費の増加により黒字幅は前期比 374 万円の減少となった。

・　各拠点区分では、ハートフル五明、共同生活援助(グループホーム)、あいくる、ふれんどは赤字となったが、ワークサポート篠ノ井、はあてぃ若槻、長野福祉工場、すまいるは黒字を確保することができ、法人全体の当期活動増減差額は前年度より 550 万円改善し、1,333 万円の黒字となった。

Ⅰ　法人本部（総務部）

1　社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

・　行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。

・　収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

2　感染症や災害の対策

・　新型コロナウイルス感染症への対策として、マスク着用、体温測定、手指消毒、３密回避を継続するとともに、ワクチン接種については、市の集団接種会場で職員の接種を申し込むなど接種を勧奨し、また、産業医兼嘱託医の協力を得て、施設及び診療所においても入所者及び職員のワクチン接種を実施するなどにより、ワクチンの接種を３回実施した。

・　県と市がまん延防止等重点措置区域指定を受けたことに伴い、２月、３月にかけて、希望する職員のＰＣＲ検査を実施した。

・　国から配布された新型コロナウイルス感染症抗原簡易キットを活用し、感染リスクが高い接触があった職員の検査を実施した。

・　食の安全を確保するため、利用者の食事配膳に従事する職員の保菌検査を年２回実施した。なお、グループホームの職員は、毎月、保菌検査を実施した。

・　５月 18 日　篠ノ井施設、５月 19 日　はあてぃ若槻及び長野福祉工場の春季防災訓練を実施した。篠ノ井施設では、洪水時の避難誘導の訓練を併せて実施した。

・　10 月 13 日　篠ノ井施設、20 日　はあてぃ若槻、長野福祉工場及びうわのほ～むの秋季防災訓練を地元防災役員の参加を得て実施した。

・　10 月 18 日　さいなみほーむ及びグループホームせはらだの防災訓練を実施した。

・　篠ノ井施設において、伝達用メーリングリストを整備し、緊急時の連絡訓練を実施した。

・　インフルエンザ対策として、予防接種者への補助金を引き続き交付した。

３　地域住民との交流機会の拡大

・　新型コロナウイルス感染症予防のため、毎年実施している篠ノ井施設のコロニー祭、若槻施設のコロニーまつりが中止となったが、外部の人は招かずに代替行事として篠ノ井施設でハロウィンウィークを開催した。また、外出がなかなかできない中で、キッチンカーによる出店やテイクアウトによるデザート・ランチの提供、パン屋さんの出張販売等により、入所者や利用者の気分転換を図った。

・　広報誌ながのコロニー第 18 号、第 19 号を発行した。

・　法人のホームページを随時更新して、情報を発信した。

４　健康で働きやすい職場環境

・　職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施し、心身の健康づくりや活気ある職場づくりに取り組んだ。

・　深夜業務従事職員に年 2 回の健康診断を実施した。

・　新規採用職員を対象とした雇入時健康診断、深夜業務従事職員を対象とした特定業務従事者健診、パートタイム勤務職員を対象とした結核健診(胸部 X 線健診)を実施した。

・　安全衛生委員会及び衛生委員会を開催し、職場巡視等を行った。

・　ハラスメント研修及びメンタルヘルス研修を実施した。

５　職員の資質向上

・　職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修をオンライン研修中心に実施した。

・　ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力を行った。

６　長期的かつ安定的な人材確保

・　入所事業一元化を見据え、適材適所・適正人員の配置を行った。

・　県の最低賃金の時間額の引き上げに伴い、職員の基本給及びパート職員の賃金の一部を引き上げた。

・　県から交付される福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金を主な財源として、処遇改善手当③を加算した。

・　非正規職員の能力を有効に発揮させ、事業を発展させるため、正規職員転換試験を実施したが、応募がなかった。

・　女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した。

・　令和４年４月１日施行の育児・介護休業法の改正に合わせ、規則の整備を図った。

７　理事会･評議員会

理事会を８回、評議員会を３回開催した。詳細は、令和３年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

8　監事監査

現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、令和３年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

9　設備投資（法人全体に及ぶもの）　（単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
福祉給付支援ハード・ソフト更新	１式	5,439,500	5,439,500	サーバー更新含む
家具等転倒防止器具			249,950	78 か所

10　その他

・　任期満了に伴う評議員、理事及び監事の選任、辞任に伴う理事長の交代があった。

・　篠ノ井施設全体の電話設備（ナースコール付き）の更新を計画し、次年度の事業として予算化した。

Ⅱ　ワークサポート篠ノ井　障害者支援施設

区　　分	定　員	目標　利用者数	実　績
施設入所支援	40 人	23 人	21.9 人月
生活介護	44 人	50 人	46.3 人月
就労継続支援 B 型	16 人	18 人	18.8 人月
短期入所	2 人	—	延べ 443 人日
就労移行支援	休止中		

1　施設入所支援

・　身体等の状況を検討した上で、入所一元化も考慮してハートフル五明の利用を提案した。

・　入所事業の一元化に向け、職員配置等の検討を進めている。

2　生活介護

(1) 生産活動

・　コロナ禍で一部作業の受注量は減少したが、例年並み工賃は確保できた。

・　新しい利用者に作業技術を継承した。

・　受注額の減少時に活用するため工賃変動積立を行った。

(2) 生活面

・　健康管理や健康状態改善のための支援をした。

3　短期入所

・　本人・家族の状況や状態に合わせてサービス利用を受け入れた。

・　新型コロナウイルスの感染状況とサービス利用の必要性を考慮した。

4　就労移行支援
休止中

5　就労継続支援 B 型
(1) 生産活動
・　コロナ禍で一部作業の受注量は減少したが、例年並み工賃は確保できた。
・　新しい利用者に作業技術を継承した。
・　受注額の減少時に活用するため工賃変動積立を行った。
(2) 生活面
・　一人ひとりが充実した生活が送れるように支援した。

6　保健
(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止
・　予定どおり嘱託医の診察を月１回実施し、年１回の結核検診を行った。
・　血液検査等各種検査を行った。
(2) 状況にあった支援
・　各利用者の健康状態の変化を把握し、必要な支援を行った。
・　支援員・看護師・栄養士が情報を共有することができた。
・　生活習慣の改善や衛生保持の必要性を啓発し、自力で実行が困難な利用者には介助を行った。
(3) 感染症対策
・　毎朝検温等の健康チェックを行い、感染症予防を行った。
・　感染症対策の知識を提供し、予防活動の支援を行った。
・　新型コロナウイルス感染症対策の情報を収集し、発生時に備えた。
・　アルコール手指消毒の有効活用と、常時マスクの着用を徹底した。
・　インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンともに、接種不可の利用者１名を除き全員接種した。
(4) 医療ケア
・　目的と必要性を共有し、手順を統一・周知して安全確実に実施した。

7　給食
(1) 楽しく温かい給食
・　身体状況に応じた食事を提供した。
・　嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。
・　温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供した。
(2) 身体状況による適切な栄養ケア
・　支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。

・　適正な栄養量を確保した。
・　療養食を提供した。

(3) 満足度の高い食事

・　嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。
・　通所の希望者への月間献立表配布及び給食掲示板の活用により食の情報を発信した。

(4) 食中毒・感染症対策

・　衛生管理を徹底し、感染症を予防した。

(5) 非常災害時対策

・　備蓄食品等を確保し、賞味期限、設置場所の確認をした。

(6) 委託業者との連携

・　HACCP の手法により食品衛生管理を徹底した。
・　療養食、代替食等は個別に対応した。

8　レクリエーション・行事

・　新型コロナウイルス感染症防止のためグループ行楽、納涼祭、コロニー祭、宿泊旅行は中止したが、キッチンカーによるイベントを施設内で実施した。
・　納涼祭に代わって納涼七夕週間の行事を実施した。
・　コロニー祭に代わってハロウィンウィークの行事を実施した。

9　設備投資　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位:円）

購入設備	数 量	単 価	金 額	備　考
ハイエースバン	1台	2,550,000	2,550,000	トヨタハイエースバン
ソリオ	1台	957,000	957,000	ソリオ
ノートパソコン	2台		289,850	ノートパソコン2台
プロジェクター	1台		54,799	プロジェクター
耐火金庫	1台		223,300	耐火金庫
サーバー			327,907	(事業所間で按分)
財務会計ソフト 給付費等ソフト			460.591	(事業所間で按分)
ソフトライセンス料			489,137	(事業所間で按分)

10　利用者実績

【利用者数】

区　　分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	7,752 人	8,587 人	△835 人	90.3%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	21.2 人日	23.5 人日	△2.3 人日	90.2%
	平均利用率	53.0%	58.8%	△5.8 ポイント	－
生活介護	延べ利用者数	10,494 人	11,185 人	△691 人	93.8%

	開所日数	269 日	268 日	1 日	100.4%
	平均利用者数	39.0 人日	41.7 人日	△2.7 人日	93.5%
	平均利用率	88.6%	94.8%	△6.2 ポイント	－
就労継続支援Ｂ型	延べ利用者数	3,605 人	3,471 人	134 人	103.9%
	開所日数	256 日	269 日	△13 日	95.2%
	平均利用者数	14.1 人日	12.9 人日	1.2 人日	109.3%
	平均利用率	88.1%	80.6%	7.5 ポイント	－
短期入所	延べ利用者数	443 人	475 人	△32 人	93.3%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	1.2 人日	1.3 人日	△0.1 人日	92.3%
	平均利用率	60.0%	65.0%	△5.0 ポイント	－

【売上高】　（単位：円）

区　分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	7,800,652	7,500,000	104.0%
		7,842,793	99.5%
就労継続支援 B 型	3,969,320	2,500,000	158.0%
		3,334,221	119.0%

【工賃】　（単位：円）

区　分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	6,375,314	6,522,478	△147,164	97.7%
	平均月額	11,549	10,925	624	105.7%
就労継続支援 B 型	総額	3,374,121	2,826,637	547,484	119.4%
	平均月額	15,621	13,333	2,288	117.2%

Ⅲ　ハートフル五明　障害者支援施設

区　分	定　員	目標 利用者数	実　績
施設入所支援	40 人	23 人	23.2 人
生活介護	40 人	24 人	24.0 人

・　外部研修に積極的に参加し、実践的な内部研修を取り入れ、職員の資質向上に努めた。
・　入所の一元化について検討を続け、40 人定員を目指し法人内職員の効率的な配置を検討した。
・　利用者の重度化に対応するため、浴室の改修を検討した。

1　日常生活上の支援

(1) 介護

・　利用者個々の状況変化を常に把握し、職員が情報を共有して共通の支援が行えるように努めた。

・　事故を未然に防ぐことを意識し、利用者の見守りを徹底した。適切な介護技術で介護を行うように努めた。

(2) 入浴

・　入浴介助は週に２回以上を基本とした。必要に応じて洗拭、シャワー浴、着替えを行い、清潔を保持した。

・　入浴時に身体状況を確認し、傷やけが等があれば医務と連携して速やかに対応した。

(3) 機能維持訓練

・　朝礼で体操を実施し、体調を整えた。機能維持訓練が必要な方には訓練を実施した。

・　生活不活発病予防のため、気候の良い季節には散歩等の気分転換を行った。

(4) 通院付き添い

・　定期通院、嘱託医との相談・診察を受け、状況により通院を行った。

・　日々バイタル等の確認を行い、顔色など状態の変化にも気を付け、看護師と連携して敏速に対応した。

2　日中活動の支援

・　利用者の希望や職員の案を基に、新たな活動や取り組みを考え、実施した。

・　コロニー祭が感染対策で中止となり、ゴム編み等の作品の販売はできなかった。

・　コロナウイルスの状況を見ながら、利用者の皆さんの意思を尊重した活動の実施を行った。

3　保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

・　年１回の結核健診、２年に１回の心電図検査と月１回の嘱託医の診察を行った。

・　血液検査等の各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

・　毎朝、全利用者の検温を実施し、体調確認を徹底した。

・　各種確認表を用いることで健康状態の変化を把握し、必要な支援をした。

・　支援員・栄養士・看護師で情報を共有した。

・　適切な食事形態への変更、衛生保持の徹底を行い、合併症を予防できた。

・　施設内での歯科検診の実施と定期的な歯科受診により、適切な口腔ケアが実施できた。

(3) 感染症対策

・　職員が新型コロナウイルス感染症の知識を習得し、対処の確認を行った。

・　新型コロナウイルス感染症対策の知識や情報を提供し、予防活動を行った。

・　手洗い、アルコール手指消毒、通院時や外出時のマスク着用を徹底した。

・　コロナウイルスワクチン、インフルエンザワクチンともに、全員接種できた。

(4) 医療ケア

・　目的と必要性の共有、手順の統一ができるように周知し、ケアを行った。

・　安全にケアを実施できた。

4　給食

(1) 楽しく温かい給食

・　身体状況に応じた食事を提供した。

・　嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。

・　温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

・　支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。

・　適正な栄養量を確保した。

・　療養食を提供した。

・　咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供し、むせや誤嚥性肺炎を予防した。

・　嚥下体操を継続して行った。

(3) 満足度の高い食事

・　嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。

・　ミキサー食から食形態を変更し、満足度を上げることができた。

(4) 食中毒・感染症対策

・　衛生管理を徹底し、感染症を予防した。

(5) 非常災害時対策

・　備蓄食品等を確保し、賞味期限、設置場所の確認をした。

(6) 委託業者との連携

・　HACCP の手法により食品衛生管理を徹底した。

・　療養食、代替食等は個別に対応した。

5　行事

感染対策を行い、以下の行事を提供した。

・　納涼ウィーク

・　ハロウィンウィーク

・　忘年会

6　設備投資

（単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
入浴用リクライニングシャワーチェア	1 台	145,000	145,000	障害の重度化への対応

7　利用者実績

【利用者数】

区　　分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	8,273 人	8,833 人	△560 人	93.7 ％
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0 ％
	平均利用者数	22.7 人日	24.2 人日	△1.5 人日	93.8%
	平均利用率	56.8 ％	60.5 ％	△3.7 ﾎﾟｲﾝﾄ	－
生活介護	延べ利用者数	6,291 人	6,676 人	△385 人	94.2%
	開所日数	269 日	268 日	1 日	100.4 ％
	平均利用者数	23.4 人日	24.9 人日	△1.5 人日	94.0 ％
	平均利用率	58.5%	62.3%	△3.8 ﾎﾟｲﾝﾄ	－

Ⅳ　はあてぃ若槻　多機能型事業所

区　　分	定　員	目標　利用者数	実　績
生活介護	16 人	13 人	10.0 人日
就労継続支援Ｂ型	25 人	25 人	20.6 人日

・　個別支援計画を基に必要なサービスを提供した。

・　利用者の日々の健康状態を確認し、コロナ禍の中でも充実した生活が行えるように支援した。

・　支援技術とサービスの質の向上を図るために実施すべき職員研修が、コロナウイルスの影響により、中止や参加取りやめとなることがあった。

1　生活介護

・　利用者の日々の生活が充実するように支援した。

・　生産活動は利用者のペースに合わせて作業を提供した。

・　創作活動は利用者の要望を取り入れて行うように努力し、利用者の創作意欲を向上させることができた。

・　月２回の音楽療法や、月１回のお話し読み聞かせ等外部講師を招いて実施する予定であったが、コロナウイルス感染警報の状況により、ほぼ中止となった。

2　就労継続支援Ｂ型

・　利用者が日々の仕事にやりがいや達成感を感じられるよう支援しつつ、仕事の提供を行った。

・　利用者の作業技術の習得及び向上に向けて、職員が意識し取り組むことができた。

・　昨年同様コロナウイルスの影響を多分に受けたが、取り引き業者と連携し、早めの情報収集を行い、作業量と工賃を安定して確保するよう努めた。

【売上高】 （単位：円）

当期実績	当期計画	増減額	計画達成率
	前期実績		前期比
4,253,047	4,687,000	△433,953	90.7%
	3,939,502	313,525	107.9%

【工賃】 （単位：円）

区　分	当期実績	当期計画	増減額	計画達成率
		前期実績		前期比
総　額	3,815,141	4,275,000	△459,859	89.2%
		3,511,802	303,339	108.6%
平均月額	13,674	14,276	△602	95.8%
		13,056	618	104.7%

3　保健

・　利用者の日々の様子や体調の変化に注意し、体調不良の場合は検温・血圧チェックを行い、状況により家庭に連絡を入れて対応を確認する等必要な支援を行った。

・　コロナ対策で健確認票を配布し、日々のチェックと記録を行った。

・　感染症に対する最新情報を共有し、予防に努めた。

4　レクリエーション・行事

・　コロナウイルスにより、宿泊旅行、コロニーまつり、忘年会を中止し、代替行事を行った。

・　土曜レクリエーションは、コロナウイルスの感染状況により、ほぼ中止となった。

5　設備投資 （単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備　考
カラー複合機	1台	682,000	682,000	

6　利用実績

【利用者数】

区　分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数	2,427人	2,122人	305人	114%
	開所日数	244日	250日	△6日	97.6%
	平均利用者数	10人日	8.5人日	1.5人日	118%
	平均利用率	62.5%	53.1%	9.4ポイント	—
就労継続支援B型	延べ利用者数	5,021人	5,014人	7人	100%
	開所日数	244日	250日	△6日	97.6%
	平均利用者数	20.6人日	20.1人日	0.5人日	102%

	平均利用率	82.4%	80.4%	1.3ﾎﾟｲﾝﾄ	—

Ｖ　長野福祉工場　就労継続支援Ａ型事業所

区　　　分	定　員	目標　利用者数	実　績
就労継続支援Ａ型	40 人	39 人	37.8 人月

１　印刷事業

・　売上実績２億 9,053 万円、加工高実績１億 5,514 万円

・　障害者優先調達法・障害者多数雇用条件による受注は若干増加し、適正価格で受注ができている。特にＲ３年度は国出先機関からの受注が伸びている。

・　昇華転写製品の新商品で受注に繋がったのはストレッチマスクのみで、今後も商品開発を継続していく必要がある。

・　内部研修を４月から 10 月まで毎月研修を行い、知識を向上させることができた。

・　アクアリムは新型コロナの影響により顧客が減少(３台)した。新規開拓のための DM 営業は、新規契約１件、引合中２件と目標との差が大きく、計画及び事業の見直しをする必要がある。

・　標準作業時間を設定することで、時間を意識して作業を進めることはできている。スキルアップについては、今後も取組が必要。

・　受注増によるオンデマンド印刷機の休日稼働はなかった。

・　生産管理課に十分な人員配置ができず、入稿受付表の運用はできていない。

・　作業時間把握について、製造課の OCR 入力を検討した結果、制作課と同様に売上生産総合管理システムへ直接入力をすることとし、製造課、制作課で時間入力を進めることができた。点検については、時間入力方法の検討が必要。

・　作業改善内容の共有や作業スケジュールの調整を行い、効率的に業務を進め、残業時間の削減を図ることができた。

・　外注費、材料費の削減では、主に資材の一括購入を行うことで経費の削減を図った。

・　ローラー等のメンテナンス間隔を見直し、メンテナンス時間を増やした結果、印刷機の良い状態が常に保たれ大きな故障もなく継続利用できた。

・　公益財団法人 JKA による補助金を活用して、断裁機を更新するとともに、紙揃え機を新規に導入し、今まで紙揃えが人力で大変だったものが簡単にできるようになり作業者も体力的に楽になった。

・　メンテナンスマニュアルは断裁機、紙揃え機を除いては完成しているが、どの作業者でも同じマニュアルを見て作業できるように検証しながら見直しを進めている。

２　縫製事業

・　売上実績１億 4,467 万円、加工高実績 5,190 万円

・　色帽子及び競走用、調教用ゼッケンについて生地価格上昇の値上がり分等を販売価

格に転嫁することが出来た。
- 昇華転写作業マニュアルの見直しを行った。作業員育成については予定している作業員の体調不良などから進んでいない。
- 新たに職員を２名採用した。内部研修を行ったが、外部研修は受注と時期が重なったことや、予定していた業者とスケジュールが合わなかったこともあり行えていない。
- 受注が重なったため、外注費が増加した。資材費も増加しているが一括で発注するなどし、送料等の削減に努めた。
- マニュアルの見直し、作業改善を行った。直し作業に時間がかかっている部分があるので継続して改善に努める。
- 急な受注があった為、10，11 月の残業が増加してしまった。他の月では削減できている。

３　福祉事業
- 第６回ゼンコロ版アビリンピックがリモート(Zoom)開催され、ながのコロニーから参加した職員が最優秀賞、優秀賞を受賞した。
- 第４７回ながのアビリンピックが開催され、ながのコロニーから参加した職員が金賞を受賞した。
- 支援課会議で研修の報告や情報の共有を行い、ケースの検討や意見交換、またサービス管理責任者を中心に OJT にて指導育成をすることができた。
- 障害関連の法令等の研修を行い、見識を深めた。
- オンライン研修も活用し、知識、技術の向上を図った。
- 関係機関との連携について、教育機関からの実習や施設見学を積極的に受け入れるなど、連携を図ることができた。
- 声掛けや業務量の調整等、積極的な支援を行い、継続利用に努めた。
- 看護師の健康相談、定期健康診断、感染症予防対策を行った。

４　設備投資　（単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
パソコン Win10　営業課	１台	93,500	93,500	
パソコン Win10　制作課	１台	166,100	166,100	
断裁機・紙揃え機	１式	8,996,900	8,996,900	JKA 補助事業 6,747,675 円
スキャナー	１台	232,100	232,100	
A3 カラープリンター	２台	242,000	484,000	
ボタンホールミシン	１台	808,500	808,500	
第２工場２階 縫製 空調設備	１式	1,166,000	1,166,000	
縫製工場　消防設備	１式	336,000	336,000	
縫製課　空調設備 405 号 406 号	１式	220,000	220,000	

電話設備更新	1式	3,455,760	3,455,760	リース
福祉給付支援ソフト更新	2台	179,018	358,000	（再掲）
サーバー(福祉給付支援ソフト用)	1台	190,405	190,405	（再掲）

【売上高】　（単位:千円）

区分	当期実績	当期計画 前期実績	計画達成率 前期比
印刷	290,525	311,060	93.4%
		274,192	106.0%
縫製	144,673	142,980	101.2%
		139,660	103.6%

【加工高】　（単位:千円）

区分	当期実績	当期計画 前期実績	計画達成率 前期比
印刷	155,144	165,920	93.5%
		140,507	110.4%
縫製	51,902	52,470	98.9%
		53,053	97.8%

【賃金】　（単位:円）

区分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金（総額）	69,311,459	69,129,773	181,686	100.3%
賃金(平均額)	152,803	149,632	3,171	102.1%

【利用者数】

区分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	8,263 人	8,568 人	△305 人	96.4%
開所日数	240 日	241 日	△1 日	99.6%
平均利用者数	34.4 人日	35.6 人日	△1.2 人日	96.6%
平均利用率	86.1%	88.9%	△2.8 ポイント	—

【苦情受付】

受付件数	内容	処理結果
1件	パラリンピックに関する発言が利用者の心情を害する内容であった。	解決済み 発言者が真意を説明し相談者の了解を得た。

Ⅵ　地域活動支援センターコロニー　共同生活援助（グループホーム）

【利用状況】

名　称	定　員	目標 利用者数	実　績	バックアップ施設
さいなみほ〜む	4 人	1 人	1.0 人	ワークサポート篠ノ井
うわのほ〜む	4 人	3 人	2.0 人	はあてぃ若槻
グループホームせはらだ	4 人	4 人	4.0 人	ワークサポート篠ノ井

・　サービス管理責任者と世話人が連携を取りながら利用者の支援を行い、利用者は安定して地域で生活することができた。

・　上野地区でのグループホームは引き続き現在の場所からの移転を検討しているが、保留の状況にある。

Ⅶ　あいくる　相談支援事業所

【利用状況】

区　分				当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	計画相談支援	特定	サービス利用支援	98 人	106 人	△8 人	92.5%
			モニタリング	285 人	299 人	△14 人	95.3%
		児童	サービス利用支援	15 人	16 人	△1 人	93.8%
			モニタリング	18 人	20 人	△2 人	90.0%
	地域相談支援　一般･地域移行支援			0 人	0 人	0 人	0%
障害支援区分認定調査				1 人	3 人	△2 人	33.3%

・　相談支援事業の体制を強化するため、相談支援専門員の増員を図った。

・　相談支援専門員のスキルアップのため、研修へ積極的に参加した。

Ⅷ　すまいる　放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

・　ミーティングで児童の情報を共有した。

・　新型コロナウイルス感染症による分散登校に対応して開所した。

・　保護者面談を実施し、ニーズの把握と保護者支援を行った。

【放課後等デイサービス利用状況】

区　分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	2,526 人	1,845 人	681 人	136.9%
開所日数	244 日	252 日	△8 日	96.8%
平均利用者数	10.4 人日	7.3 人日	3.1 人日	142.5%
平均利用率	104.0%	73.2%	30.8 ﾎﾟｲﾝﾄ	―

【障害児自立サポート　利用状況】

区　分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	594 人	489 人	105 人	121.5%

【設備投資】　（単位：円）

購入設備	数 量	単 価	金 額	備　考
サーバー			179,403	(事業所間で按分)
ソフトライセンス料			369,886	(事業所間で按分)

Ⅸ　ふれんど　障害児自立サポート事業所

区　　分	利用日数		登録者
	計　画	実　績	
障害児自立サポート	40 日	0 日	0 名

令和3年度 会議･行事及び研修会等経過報告

1 役員会等

(1)理事会

年月日	議 題 等	場 所
3.5.18	第1回理事会 議案第1号 令和2年度資金収支補正予算書(第5号) 議案第2号 令和3年度資金収支補正予算書(第1号)	篠ノ井施設
3.6.9	第2回理事会 議案第3号 令和2年度事業報告 議案第4号 令和2年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第5号 令和2年度の社会福祉充実残額 議案第6号 社会福祉法人ながのコロニー育児･介護休業等に関する規則の一部改正 議案第7号 給付費請求ソフト、財務会計ソフト、サーバー等の購入契約 議案第8号 車両の購入契約 議案第9号 理事･監事の選任 議案第10号 評議員候補者の推薦 議案第11号 評議員選任･解任委員会の招集 議案第12号 苦情解決第三者委員の選任	篠ノ井施設
3.6.24	第3回理事会 議案第13号 理事長の選定 報告第1号 評議員選任･解任委員会議事録の報告 議案第14号 評議員選任･解任委員の選任	篠ノ井施設
3.7.14	第4回理事会 議題第15号 指定放課後等デイサービス事業 すまいる運営規程の一部改正 議題第16号 公益財団法人JKA補助事業によるコンピュータ式紙断裁機及び全自動紙揃え機の購入契約	篠ノ井施設
3.11.15	第5回理事会 報告第1号 職務執行状況の報告(中間決算) 議案第17号 令和3年度資金収支補正予算書(第2号) 議案第18号 社会福祉法人ながのコロニー施設職員の処遇改善手当支給基準の一部改正 議案第19号 評議員会の招集	篠ノ井施設
3.11.24	第6回理事会 議案第20号 長野福祉工場電話交換設備のリース契約	篠ノ井施設
4.2.28	第7回理事会 議案第21号 評議員会の招集	(書面決議)
4.3.16	第8回理事会 議案第22号 令和4年度事業計画書 議案第23号 令和4年度資金収支予算書 議案第24号 令和3年度資金収支補正予算書(第3号) 議案第25号 社会福祉法人ながのコロニー施設職員の処遇改善手当支給基準の一部改正 議案第26号 社会福祉法人ながのコロニー長野福祉工場における処遇改善加算の取り扱いについての改正 議案第27号 ワークサポート篠ノ井運営規程の一部改正 議案第28号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員･臨時職員就業規則の一部改正 議案第29号 社会福祉法人ながのコロニー育児･介護休業等に関する規則の一部改正 議案第30号 苦情解決第三者委員の選任 議案第31号 理事長及び理事の辞任 議案第32号 事業所長等の選任 議案第33号 理事の選任 議案第34号 理事長選定 議案第35号 顧問の推薦	篠ノ井施設

(2)評議員会

年月日	議　題　等	場　所
3.6.24	第1回評議員会 報告第1号 令和2年度事業報告 議案第1号 令和2年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第2号 理事及び監事の選任	篠ノ井施設
3.11.24	第2回評議員会 報告第2号 令和3年度中間決算の報告	篠ノ井施設
4.3.18	第3回評議員会 報告第3号 令和4年度事業計画書及び令和4年度資金収支予算書の報告 報告第4号 事業所長等の選任の報告 議案第3号 理事の選任	ふれあい福祉センター

(3)評議員選任・解任委員会

年月日	内　容　等	場　所
3.6.22	第1回評議員選任・解任委員会 議案第1号 評議員の選任	篠ノ井施設

(4)監査会

年月日	内　容　等	場　所
3.4.1	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設 長野福祉工場
3.5.27	決算監査	篠ノ井施設
3.6.3	決算監査	長野福祉工場
3.11.10	中間監査	篠ノ井施設 長野福祉工場

2 法人内会議及び行事等

年月日	会議・行事等	場 所
定期開催	経営会議(毎月開催)	篠ノ井施設・長野福祉工場 (交互開催)
	施設運営会議(毎月開催)	篠ノ井施設
	安全衛生委員会(月1回)	長野福祉工場
	衛生委員会(月1回)	篠ノ井施設・はあてぃ若槻
	職員会議(月1回)	篠ノ井施設 はあてぃ若槻
	支援課会議(月1回)	長野福祉工場
	部課長会議(月1回)	長野福祉工場
	嘱託医による診察（月1回)	篠ノ井施設・はあてぃ若槻
	行事「マンスリーテイクアウト グルメ＆スイーツ」(不定期開催)	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
3.4.8	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
3.4.6	はあてぃ若槻お花見（利用者33名、職員11名） ※20日まで4日に分けて実施	須坂小布施方面 はあてぃ若槻
3.4.21	参議院長野県選出議員補欠選挙不在者投票	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
3.5.18	防災訓練	篠ノ井施設
3.5.19	防災訓練	若槻施設
	深夜業従事職員健康診断 ※2日に分けて実施	健康づくり事業団
3.6.10	ゼンコロ「制作課交流会」（全2回）	オンライン
3.6.13	新型コロナワクチン接種（入所利用者） ～3月にかけて複数回に分けて実施	篠ノ井施設
3.7.3	ながのコロニー後援会 役員会	篠ノ井施設
3.7.6	利用者結核健診	篠ノ井施設
3.7.10	はあてぃ若槻土曜日レクリエーション ドライブ	小布施フラワーパーク
3.7.17	長野県障がい者技能競技大会（ながのアビリンピック）（利用者1名、職員1名）	ポリテクセンター長野
3.7.27	はあてぃ若槻サマーパーティー（利用者32名、実習生1名、職員10名）	はあてぃ若槻
3.8.2	納涼・七夕週間 ～6日（利用者91名）	篠ノ井施設
3.8.19	ゼンコロ「営業課交流会」	オンライン
3.8.28	緊急連絡網運用訓練	篠ノ井施設・はあてぃ若槻
3.10.8	ながのコロニー後援会監査	篠ノ井施設
3.10.13	防災訓練（地区の参加）	篠ノ井施設
3.10.18	防災訓練	さいなみほ～む グループホームせはらだ
3.10.20	防災訓練（地区の参加）	若槻施設 うわのほ～む
3.10.22	ゼンコロ60周年記念事業	オンライン
3.10.25	ハロウィンweek ～29日（利用者90名）	篠ノ井施設
3.10.28	衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・長野市長選挙不在者投票	篠ノ井施設

3.10.30	はあてぃフェスティバル（利用者24名、職員10名）	はあてぃ若槻
3.11.6	ゼンコロ版アビリンピック	オンライン
3.11.12	職員定期健康診断	若槻施設
	長野南年金事務所による被保険者の資格及び報酬等の調査	篠ノ井施設
3.11.17	職員定期健康診断	篠ノ井施設
3.11.25	ワークサポート篠ノ井秋の行楽キッチンカー（3日間実施）	篠ノ井施設
3.11.30	利用者心電図検診	篠ノ井施設
3.12.1	ハートフル五明歯科口腔健康診断	篠ノ井施設
3.12.18	はあてぃ若槻土曜日レクリエーション ケーキ作り	はあてぃ若槻
3.12.20	虐待防止委員会	篠ノ井施設
3.12.22	ハートフル五明忘年会（利用者24名）	篠ノ井施設
3.12.29	はあてぃ若槻忘年会（利用者30名、職員11名）	はあてぃ若槻
4.1.11	利用者成人式（対象者3名：ワークサポート篠ノ井通所者）	篠ノ井施設
4.2.4	災害時情報共有システムの訓練	オンライン
4.2.10	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	オンライン
4.3.26	ながのコロニー後援会役員会	篠ノ井施設

3　研修会・講習会等

年月日	研修会・講習会等	場　所
3.4.15	新任相談支援専門員研修 3名	オンライン
	セミナー「伝わる！デザインのセオリー」（全6回）	オンライン
3.4.19	課題設定思考法セミナー（全3回）	オンライン
3.5.1	入所施設等における新型コロナウイルス感染症予防対策研修会　※2日に分けて実施	長野市保健所
3.5.11	チーム力を向上させるリーダーに必要な「5つの力」セミナー	ホテルブエナビスタ
3.5.13	福祉経営セミナー「新型コロナウイルス感染症の現状と対策」	オンライン
3.5.24	障がい者福祉サービス従事者 新人研修 2名	オンライン
3.6.3	ゼンコロ国会図書館デジタル化事業説明会 3名	オンライン
3.6.8	問題行動対方法解説セミナー 4名	オンライン
3.6.11	仕事の質とスピードを高める4つの力向上セミナー	ホテルブエナビスタ
3.6.21	相談支援従事者初任者研修 2名 ～9/29（延べ7日間）	オンライン
3.6.23	集団療育におけるプログラム作成と支援の進め方セミナー 4名	オンライン
3.6.24	セミナー「今更聞けない？誰にも聞けないPDFの話」 ※2日に分けて実施	オンライン
3.6.27	「発達障害児の育ちと学びを考える」講演・パネルディスカッション 7名	オンライン
3.7.5	認知症介護基礎研修	千曲市総合観光会館
3.7.8	中堅社員スキルアップ研修	八十二別館
	JAGATセミナー「PDF入稿の運用方法とトラブル対策」	オンライン
3.7.13	アンガーマネジメント＆アサーションセミナー	八十二別館
3.7.15	メンタルヘルス研修会（管理職向け）　9名	篠ノ井施設
3.7.16	スキルアップ講座（すまいる全職員）　7名	にじいろキッズらいふ
3.7.19	福祉サービスにおける虐待防止研修（動画視聴）12名　※3日に分けて実施	オンライン
3.7.20	令和3年度障害者虐待防止・権利擁護研修会　2名	オンライン
3.7.29	セルプ工賃向上セミナー	オンライン
3.9.8	差別解消・虐待防止研修会　篠ノ井施設職員　※同日に2回に分けて実施	篠ノ井施設
3.9.14	就労支援セミナー「通所率改善のために今すべきこと」	オンライン
3.9.28	ハラスメント防止研修会　若槻施設職員　※同日に2回に分けて実施	はあてぃ若槻
3.10.2	「面接技法～利用者の背景を想像する、やる気を引き出す～」研修	長野市生涯学習センター
3.10.4	社会保険事務講習会　2名	若里市民文化ホール
3.10.8	放課後等デイサービス支援講座	にじいろキッズらいふ
3.10.12	手話通訳講習会　若槻施設職員　※2日に分けて実施	はあてぃ若槻
3.10.14	福祉職員生涯研修 新人育成課程（延べ2日間）	オンライン

3.10.19	セミナー「DTP・制作マネージャーのための制作現場の見える化」(延べ2日間	オンライン
3.10.20	防災施設研修会	善光寺
3.10.25	虐待防止研修会　若槻施設職員　※2日に分けて実施	はあてぃ若槻
3.10.29	障害特性と職業的課題研修(発達障害)	はあてぃ若槻
3.11.15	福祉職員生涯研修 中堅職員課程 (延べ2日間)	長野地域職業訓練センター
3.11.16	年金委員・健康保険委員合同研修会	ホクト文化ホール
3.11.18	第2回労務管理改善リーダー研修会	長野合同庁舎
3.11.19	安全運転管理者講習	篠ノ井交流センター
3.11.24	長野市相談支援専門員等スキルアップ研修会 5名	オンライン
3.11.25	管内保健医療福祉関係者等研修会(依存症対策) 2名	オンライン
3.11.26	令和3年度相談支援・就業支援セミナー 6名	オンライン
	第3回労務管理改善リーダー研修会	長野合同庁舎
3.11.27	難病患者等ホームヘルパー養成研修会(難病基礎課程Ⅰ)	オンライン
3.12.1	文書情報管理士セミナー 6名 (～14日まで随時)	オンライン
3.12.3	令和3年度長野県サービス管理責任者更新研修 2名 (延べ2日間)	オンライン
	オフセット印刷現場の印刷品質と印刷機のメンテ基礎講座	オンライン
3.12.8	人権・ハラスメント防止研修会　篠ノ井施設職員　※同日に2回に分けて実施	篠ノ井施設
3.12.16	福祉職員生涯研修 中堅職員課程 (延べ2日間)	オンライン
4.1.7	フォークリフト運転技能講習　～13日(延べ4日間)	長野県トラック会館 長野市地域職業訓練センター
4.1.12	虐待防止意見交換会(支援課研修)　11名	長野福祉工場
4.1.14	医療ケア児等支援者養成講座　～2/2(延べ12回)	オンライン
4.1.17	電子化作業の就労種目化に向けた障害者施設の技術講習　～21日(延べ5	東京コロニー
4.1.18	危険物取扱者試験準備講習会	長野県自治会館
	雇用保険事務担当者研修会	篠ノ井交流センター
4.1.27	災福ネットセミナー	オンライン
4.2.3	ゼンコロスキルアップ研修会	オンライン
4.2.9	障害者への就労支援とSDGsセミナー 2名	オンライン
4.2.10	障害者虐待防止・権利擁護研修会	オンライン
4.2.17	地域発達支援研修会	オンライン
4.3.2	セミナー「DTP制作のための組版の基礎知識」(延べ2日間)	オンライン
4.3.10	長野県経営協セミナー	オンライン
4.3.16	「利用者の安全な生活を支える看護の人材育成」研修 2名	オンライン

4 福祉現場実習・研修受入状況

年月日	実習・研修名	場 所
5～6月	稲荷山養護学校更級分教室校外学習(延べ3日間)5/7、5/28、6/16	篠ノ井施設
3.5.31	体験実習受入れ1名(ワークサポート篠ノ井利用希望者)	ワークサポート篠ノ井
3.6.8	現場実習1名(長野養護学校高等部2年生)～11日(延べ4日間)	はあてぃ若槻
3.6.14	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生)～18日(延べ5日間)	はあてぃ若槻
3.6.15	現場実習1名(長野養護学校高等部2年生)～17日(延べ3日間)	はあてぃ若槻
	現場実習1名(若槻養護学校高等部2年生)～18日(延べ2日間)	長野福祉工場
3.6.21	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生)～22日(延べ2日間)	はあてぃ若槻
	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生)～25日(延べ5日間)	はあてぃ若槻
	現場実習1名(長野ろう学校高等部3年生)～24日(延べ4日間)	長野福祉工場
3.7.13	現場実習1名(長野養護学校高等部2年生)～16日(延べ4日間)	長野福祉工場
3.7.26	体験実習受入れ1名(はあてぃ若槻利用希望者)～30日(延べ5日間)	はあてぃ若槻
3.8.2	職場体験学習受入れ1名(長野東高等学校2年生)～6日(延べ5日間)	はあてぃ若槻
3.10.11	体験実習受入れ1名(はあてぃ若槻利用希望者)～15日(延べ3日間)	はあてぃ若槻
3.10.19	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～25日(延べ5日間)	ワークサポート篠ノ井
3.10.25	体験実習受入れ1名(ワークサポート篠ノ井利用希望者)～29日(延べ5日間)	ワークサポート篠ノ井
3.10.26	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～28日(延べ3日間)	ワークサポート篠ノ井
3.11.1	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～2日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
	現場実習1名(若槻養護学校高等部2年生)～4日(延べ3日間)	長野福祉工場
3.11.8	職場体験学習受入れ1名(篠ノ井東中学校2年生)	ハートフル五明
	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～10日(延べ3日間)	ワークサポート篠ノ井
3.11.9	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生)～19日(延べ9日間)	はあてぃ若槻
3.11.15	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生)～26日(延べ9日間)	はあてぃ若槻
3.12.6	現場実習1名(信大附属特別支援学校高等部2年生)～10日(延べ5日間)	はあてぃ若槻
3.12.15	体験実習受入1名(岡学園3年生)	長野福祉工場
4.1.12	社会福祉士養成通信課程学生の実習受入～2/15(延べ24日間)	ワークサポート篠ノ井

5 視察・見学受入状況

年月日	団体名等	人数	場　所
3.5.12	長野ろう学校　生徒、保護者、先生	4	長野福祉工場
3.5.25	豊野高等専修学校　生徒	2	長野福祉工場
3.6.10	長野養護学校高等部1年生　生徒、先生	6	はあてぃ若槻
3.6.11	長野養護学校高等部1年生　生徒、先生	8	はあてぃ若槻
3.6.24	若槻養護学校　生徒、先生	10	長野福祉工場
3.7.7	稲荷山養護学校高等部2年生　生徒、保護者、先生	7	ワークサポート篠ノ井
3.7.27	信州大学教育学部附属特別支援学校　生徒、保護者、先生	6	はあてぃ若槻
3.9.9	北部障害者支援センター	2	はあてぃ若槻
3.10.13	稲荷山養護学校高等部　保護者、先生	2	ワークサポート篠ノ井